

一般財団法人リモート・センシング技術センター

リモートセンシングデータ解析技術者養成講座

実施者	一般財団法人リモート・センシング技術センター			
講座名称	リモートセンシングデータ解析技術者養成講座			
認定番号	43001-1001	認定期間	2018/10	～ 2024/9
実施方法	平日昼間、eラーニング	入学定員	16名	
訓練期間	6日間	訓練時間	30時間	
開講月	5月、9月、12月			
受講経費	入学料 0円	受講料 178,200円	合計 178,200円	
教育訓練給付指定	有り／指定番号 48201-182001-1	指定期間	2021/10	～ 2024/9
対象分野	データサイエンス			
講座の教育内容	衛星リモートセンシングによる観測の仕組み、画像やデータの解釈方法を理解し、ビッグデータ分析をビジネスで活用するために必要な知識を身につける。			
目標とするレベル	<ul style="list-style-type: none">当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、業務上の課題の発見と解決をリードするとともに、後進育成にも貢献できるレベル当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、新規ビジネスやサービス等の創出が可能であるほか、後進育成にも貢献できるレベル			
具体的な到達目標	<ul style="list-style-type: none">リモートセンシングの基本原理に関する知識を身につける。衛星データの基本的な解析方法や画像の適切な解釈方法を身につける。業務で衛星データを利用するための知識や技術を身につける。研修で身につけたスキル等を所属部署へ持ち帰り、その知見を関係者と共有する。			
習得できるスキル	<ul style="list-style-type: none">リモートセンシングの基本原理を説明することができるスキル。画像化された衛星データを適切に解釈できるスキル。GISソフトやGoogle Earth Engineを用いて衛星データの解析や分析を行うためのスキル。リモートセンシング解析技術を用いて業務上の課題を発見し、それを解決するためのスキル。			
講座の理解・習得のために推奨される実務経験	環境問題、持続的開発、気候変動などに関する業務や研究を行った経験。			
講座の理解・習得のために推奨される知識・技術	<ul style="list-style-type: none">Windowsの基本的な操作。高校数学、理科履修者または同等の学力を有する。			
技術・知識の到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none">総合演習時に衛星データの解析結果や課題解決の結果を提出させ、技術の到達度を測る。終了時に選択式の理解度テストを実施し、知識の到達度を測る。			
修了認定の判断基準	<ol style="list-style-type: none">出席率80%以上。総合演習における解析結果の提出（適切に解析されたかを講師が判断）。終了時の理解度テストの正答率80%以上。			
修了認定基準に満たない受講者への措置	解析結果が十分でない場合、講師のアドバイスの下、再解析・再提出を実施させる。また、理解度テストの正答率が80%未満の場合、時間を延長し、再テストを実施する。			
社会人が受講しやすい工夫	<ul style="list-style-type: none">都合が悪くなり受講できなくなった方には、別日程で開催される講座への振替を案内している。講座受講の前後の予習と復習に活用できるよう、受講者にはe-Learning動画を無料で提供している。			
受講者に対するサポート体制	<ul style="list-style-type: none">講義実施1日ごとに質問対応の時間を設け、疑問がある場合には理解できるまで指導している。講義が終了した後でもメールで質問に回答している。演習での課題が時間内に終わらなかった場合、後日メールでの課題提出を受け付けている。e-Learning動画を無料で提供しており、予習と復習に役立てもらっている。			
教育訓練施設所在地	東京都港区虎ノ門3-17-1			
ホームページ	https://rs-training.jp/certification/			